

第5回府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 策定委員会 議事録

■ 日 時：平成17年12月15日（木） 午後2時00分～4時00分

■ 場 所：府中市役所 北庁舎3階 第1会議室

■ 出席者：（五十音順・敬称略）

<委員>

青木八重子、吾妻裕、石渡禎子、板山賢治、川口宣男、川又協子、島村八重子、鈴木恂子、中島豊春、野島征三、能勢淳子、和気康太

<事務局>

福祉保健部長、福祉保健部次長、高齢者福祉課長、地域支援担当主幹、地域福祉推進課長、介護保険課長、高齢者福祉課長補佐、介護保険課長補佐、高齢者福祉課介護支援係長、介護保険課事業計画担当主査

■ 議 事： 1 開会

2 傍聴者の入場

3 議題

(1) 府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 市民説明会の報告

(2) 保険料段階の設定、保険料仮設定について

(3) 府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画（素案）について

(4) その他

①地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会について

②次回日程について

■ 資 料： 資料1 府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 市民説明会結果の概要

資料2 府中市における介護保険サービスの見込量

資料3 保険料仮算定（保険料段階の検討）について

資料4 府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画（素案）

資料5 地域包括支援センター運営協議会の設置について

1 開会

2 傍聴者の入場

(10名の傍聴者が入室)

3 議題

(1) 府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画 市民説明会の報告

(事務局より、資料1に基づき報告)

会 長：今後も市民説明会を開催する予定があるか。

事 務 局：経過の説明会は今回だけである。18年の4月以降、変更点について周知が必要と考えている。

(2) 保険料段階の設定、保険料仮設定について

(事務局より、資料2について説明)

委 員：要介護1の方が要支援になる場合、サービスはどうなるのか。市内には若年性の認知症の方が今どのくらいいらっしゃるのか。

事 務 局：要介護1のサービスが使える形で見込んでいる。若年性の認知症の方の人数は把握していない。

会 長：介護保険給付と地域生活支援事業に分けて整理した資料はあるか。

事 務 局：一表にまとめた形式の資料はない。

副 会 長：小委員会の資料にはあったように思う。

事 務 局：資料2で給付実績と第3期計画の見込み量の関係を整理した表がある。要支援の通所リハビリテーションは0.97から0.92に下がっている。介護予防に流れていくので減っている。

委 員：介護予防に流れるにしても、要介護3、要介護4の人がどうつながるのか理解できない。虐待でショートを見込むなら、増になるはずだが、ほとんど実績のままになっている。

事 務 局：新予防給付への影響は要支援と要介護1のところだけで、要介護3、要介護4、要介護5は、地域密着型の方でカウントしている。

事 務 局：「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」が4月から施行になるが、内容がまだよくわからないので、ここではカウントしていない。訪問看護については現状維持で減っていない。

委員：4 ページには訪問看護の利用回数が伸びていると書いてある。
会長：p.4 ③訪問看護・介護予防訪問看護の単位は。
事務局：年間トータルの回数である。
委員：p.2(4)施設・居住系サービスに出ている割合の数字について説明をお願いしたい。
事務局：国から示された数字である。
事務局：サービス量の推計は、1人あたりの利用率、回数を積み上げて算出している。高齢者人口、要介護認定者数は、自然体と介護予防後の人数を出している。要支援1、要支援2は、自立だった人が要介護認定を受けたり、要介護から要支援になるなどの出入がある。予防後の人数を割り返すと、軽度の人は従来より多くなり、サービスの回数が少なくなる傾向がある。今後も数字は精査していく。
会長：事務局で精査して資料をつくってほしい。
委員：p.4の④、居宅療養管理指導の実績に12をかけると見込量とイコールになるのか。
事務局：第2期は月あたりの人数で、1人が1回もしくは2回利用するため、単純に12をかければよいわけではない。見込量は、1人が1回もしくは2回利用すると考え、重度の方は2回利用するなど想定している。単純に12で割ると数が合わなくなる。現状の数をクリアできるように見込んでいる。
委員：介護認定見直しの動きとも絡むのではないか。

(事務局より、資料3について説明)

会長：準備基金を取り崩せば保険料は多少は安くなる。
委員：段階ごとの比率の出し方が同率でないのは何故か。
事務局：第2期の時は、国は5段階方式を示していたが、府中市では6段階とした。また、低所得者層への配慮として、国は0.50としていたが、府中市は0.45とした。今回、多段階化と比率を低くする考え方で検討している。資料3のp.3、新第1段階と新第2段階の料率が0.40とあるのは0.45の誤りである。
委員：料率が同じなら、第1段階と第2段階を分ける必要があるのか。段階の細分化にはいろいろな考え方があると思う。なぜ0.45になるのか。
事務局：新第2段階は、限りなく第1段階に近いということで、同じ比率にしている。
会長：第1段階は生活保護、第2段階は収入が80万円以下で、やはり分類は必要だ。
委員：分類は必要だが、料率設定が均等でないのは公平感が感じられない。
事務局：国も第1段階と第2段階は同率にしている。わかりやすさか、低所得者への配慮かという違いがある。府中市は、低所得者への配慮という第2期の方針を、第3期においても踏襲している。
委員：前回の資料と比べると90円くらい違うが、その理由を教えてください。多段階化には賛成。10段階くらいにして、応能負担としたらよい。
事務局：前回資料には計算ミスがあり、やり直した。

副会長：サービスを利用する時は皆1割負担なので、高額所得者が多く負担するという考え方でよい。それぞれの段階に該当する人がどのくらいいるのか。

事務局：平成18年度の試算だが、第1段階は1,303人、第2段階は6,903人、第3段階3,503人、第4段階12,176人、第5段階8,240人、第6段階5,400人、第7段階2,400人、合計39,925人となっている。

委員：サービスの内容が市民に理解されれば保険料が上がってもよい。PRが必要だ。

委員：7段階が妥当だと思う。

委員：他の市と比べてどうなのか。

委員：低所得者への配慮という方針を引き継ぎ、8段階に分けてもよいと思う。

委員：保険料が高くてサービス充実を望む声があるが、払えない層もある。保険料段階の細分化には賛成。高額所得者が多く負担し、皆が安心を得られるのが一番よい。7段階、8段階とした場合、得られる保険料の総額は同じくらいになるのか。

会長：総額は変わらない。

委員：総額が変わらないなら、お金のある人がたくさん払うのが自然だ。

会長：これは仮の計算だ。準備基金を多く持ちすぎてもいけないと言われている。市長判断もある。ある程度保険料が高くなることも妥当だという考え方もある。

委員：今度は新第4段階が基準額になる。第4段階は所得が高いというイメージがある。ホテルコストなど利用者負担が増えた。資料3のp.6に書いてあるような問題点もある。保険料段階についての意見は保留としたい。

委員：低所得者層の保護は結構だが、一般の給与所得者層のような平均的な層に負担させてよいのか。第6段階と第7段階を足しても1万人しかいないのに、さらに細かく分けるのもいかがなものか。原案の7段階でよい。

委員：多段階化については、これ以上の分析をしないと難しい。国の考えを踏襲した上で、市の考えも反映されている。

委員：マジョリティの受け止め方、税改正の影響など、総合的に考えると一概にどれがよいとは言えない。700円～800円の増額は負担感が大きい。準備金を取り崩し、基準額が4,000円を超えない方がよい。

副会長：上の段階の人たちにあまり過重な負担をかけると、下の段階の人との差が大きくなりすぎる。細分化しすぎても事務が煩雑になる。7段階でよい。

会長：近隣の自治体ではどうか。

事務局：低いところでは3,500円台、高いところでは4,500円台くらいで検討している。

副会長：準備基金を取り崩すと150円くらい安くなるが、その事業運営期間の準備基金が不足した場合、次期計画では保険料が大幅に上がることになる。

事務局：準備基金のうち1億円を取り崩すと70円くらい安くなる。次期でマイナスになると困るので、取り崩すにしてもどのくらい残すか、政策判断が必要だ。

会長：3,000円台か、4,000円台か、挙手で意見をお聞きしたい。

(委員、挙手)

会 長：4,000 円は超えない方がよいと考えている委員が多いようだ。

(3) 府中市高齢者保健福祉・介護保険事業計画（素案）について

(事務局、資料4について説明)

会 長：今日は時間がないので、持ち帰ってお読みいただき、次回、ご意見をいただきたい。

事 務 局：第2期では検討となっていた入院見舞金は、現金給付から支援事業に転換する考え方に沿って施策体系からはずした。

会 長：府中市は地域包括支援センターは1ヶ所で市役所に設置する考えだが、他の自治体では複数設置している。1ヶ所とする理由をきちんと書いた方がよい。

(4) その他

①地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会について

事 務 局：地域包括支援センター運営協議会の準備委員会は介護予防小委員会のメンバーに、地域密着型サービスの運営委員会は空間整備小委員会のメンバーにお願いしたい。18年の4月以降は、メンバー構成も新たに作る。

② 次回日程について

第6回策定委員会 1月12日(木) 午後2時から4時